

令和7年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

専修学校クラーク高等学院天王寺校

1 はじめに

学校自己評価を行う上で、生徒や保護者を対象とする評価を通じて、学校運営や教育内容等に対して生徒・保護者がどのような意見や要望を持っているかを把握し、今後の取組や自己評価に活用することが重要である。

このため、本校では、在籍する全生徒及び保護者を対象に、本校の教育に対する満足度を調査するための「意識調査アンケート」を Web アンケートツール「Forms」により実施している。令和7年度は昨年度に引き続き、本校の特に力を入れている教育について満足度を測るアンケートを実施した。

なお、アンケートの実施に当たっては、匿名性の担保に配慮する観点から無記名方式としている。

2 調査及び集計結果

生徒及び保護者に対し、以下の項目について、【1：とても満足している 2：満足している 3：どちらともいえない 4：あまり満足していない 5：全く満足していない】の五者択一方式で満足度調査を実施した。

令和7年度「生徒・保護者意識調査アンケート」集計結果

	カテゴリー	1年生	2年生	3年生
生徒	教科学習への満足度	72.5%	74.0%	72.7%
	グローバル教育への満足度	67.0%	72.2%	70.7%
	探究的な学びへの満足度	67.3%	69.0%	68.7%
	生徒支援への満足度	71.2%	74.0%	70.9%
保護者	担任の先生への満足度	81.6%	84.4%	85.3%
	学校行事・学校生活への満足度	79.2%	78.7%	80.3%
	前年度に比べてのお子様の成長感	82.2%	83.3%	81.6%

3 考察

(1) 生徒意識調査アンケート

・教科学習への満足度

全学年で 72～74% となっており、一定の評価を得ているものの、更なる改善が必要である。今後は EdTech 教材を活用した個別最適な学びと協働的な学びを充実させるとともに、生徒一人ひとりの理解度や学習状況に応じた支援を行う。また、生徒が自身の学力の伸長や学習成果を実感できる機会を設けることで、学習意欲を高め、より主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを推進していく。

・グローバル教育への満足度

1 年生が 67.0% と他学年より低く、グローバル教育の意義や学習成果を実感できる取組の充実が必要である。今後は英語学習への意欲を高める活動や実用英語技能検定の取得支援を強化するとともに、外国人講師との交流や実践的に英語を活用する機会を充実させる。また、英語力の伸長を生徒自身が実感できる仕組みを整え、英語を学ぶ目的や必要性を理解しながら主体的に学習できる環境を整えていく。

・探究的な学びへの満足度

全学年で 70% を下回っており、学習活動の意義や成果を十分に実感できていない可能性がある。今後は地域や大学等との連携を一層強化し、実社会や身近な課題を題材とした探究活動を充実させる。また、活動の成果を発表する機会を設けるとともに、ポートフォリオ等を活用して学びの過程や成果を可視化することで、生徒が自身の成長を実感し、探究活動で身に付けた力を進路活動にもつなげられるよう取り組んでいく。

・生徒支援への満足度

2 年生が 74.0% と最も高い一方、3 年生は 70.9% となっており、各学年や生徒の状況に応じた支援の充実が必要である。今後は日常的な声掛けや個別面談等を通して、生徒一人ひとりの状況や課題を早期に把握するとともに、担任、学年主任、進路担当者等が情報を共有しながら組織的に支援する。また、生徒が安心して相談できる環境を整備し、一人ひとりが安心して学校生活を送ることができる支援体制を強化していく。

(2) 保護者意識調査アンケート

・担任の先生への満足度

全学年で 80%を超えており、特に 3 年生は 85.3%と高い評価を得ていることから、日頃の生徒への関わりや保護者との連携が一定の評価につながっていると考えられる。今後も学級通信やオンライン連絡ツール等を活用して学校生活の様子を丁寧に発信するとともに、保護者会や個別面談を通して家庭との連携を密にしていく。また、生徒一人ひとりの状況を適切に共有し、学校と家庭が共通理解を持ちながらきめ細かな支援を継続していく。

・学校行事・学校生活への満足度

全学年で 80%前後となっており、学年間で大きな差は見られず、学校行事や学校生活について一定の評価を得ている。今後は生徒が主体的に企画・運営する学校行事や、各コースの特色を生かした活動をさらに充実させ、生徒が達成感や所属感を得られる機会を増やしていく。また、行事や日常の教育活動の様子を写真や動画等で保護者へ積極的に発信し、学校での活動や生徒の成長を家庭と共有できるよう取り組んでいく。

・前年度に比べてのお子様の成長感

全学年で 80%を超えており、多くの保護者が前年度と比べて生徒の成長を実感している。今後は教科学習だけでなく、探究活動やコース活動、資格取得、学校行事等を通して、生徒が多様な場面で自身の成長を実感できる教育活動を充実させていく。また、学習の記録や資格取得、進路活動等の成果だけでなく、その過程についても保護者と丁寧に共有し、学校と家庭が連携しながら生徒の成長を支える体制を強化していく。